

単元目標

〔平面図形について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。〕

【知識及び技能】

- ① 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解すること。
- ② 平行移動、対称移動及び回転移動について理解すること。
- ③ おうぎ形の弧の長さや面積を求めること（空間図形の目標の一部から）。

【思考力、判断力、表現力等】

- ④ 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現すること。
- ⑤ 図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察し表現すること。
- ⑥ 基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用すること。

なぜ学ぶのか



単元のスタート時に、学習内容が身に付いた生徒の「単元のゴール時の姿」をイメージすることが大切です。



単元 スタート



図形の性質や関係を用いて、日常の事象の特徴をよりの確に捉えたり、問題を解決したりするために

1節

- ② 平行移動、対称移動及び回転移動について理解する
- ⑤ 図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察し表現する
- ⑥ 基本的な図形の移動を具体的な場面で活用する (6)

()は、時数を表しています

思考力・判断力・表現力を育成する授業の展開例

展開例【1節】

※トップページから見られます

2節

- ① 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解する
- ④ 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現する
- ⑥ 基本的な作図を具体的な場面で活用する (4)

知識・技能の習得を目指す授業の工夫例【2節】

※トップページから見られます

3節

- ③ おうぎ形の弧の長さや面積を求める (5)

知識・技能の習得を目指す授業の工夫例【3節】

※トップページから見られます

単元 ゴール



移動の要素や特徴がそれぞれ分かったわ。日本の伝統的な模様の中に、図形を移動したものとして捉えられるものがあることが分かったわ。

数学における作図の意味が分かったよ。図形の対称性や性質に着目して、作図の方法を説明することができるようになったよ。

円の一部分がおうぎ形なんだね。円と扇形の関係や割合を使って、弧の長さや面積、中心角を求めることができたよになったわ。

身の回りにある模様や図形の特徴を、見付けることができるようになったよ。